

報 告 書

(第1班)

開催日時	平成25年 2月 1日(金) 午後7時～午後8時45分				
開催場所	矢作 町 コミュニティセンター				
	(班長) 小松 眞、(副班長) 菅野 広紀、(司会) 菅野 広紀 (報告者) 及川 修一、(記録者) 松田 信之、(幹事) 伊勢 純 (幹事) 佐々木 一義				
参加者数	10人	意見数(のべ)	18件	アンケート数	件
主な要望 ・提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度決算、24年度予算について、決算や予算の差額が大きいがなぜか。 ・市役所の位置の決定期日はいつか。浸水被害を免れた高台での整備が望ましい。 ・市役所の再建位置は、国道340号からのアクセスからも、現在の仮庁舎地で良いのでは。被災地への建設は賛成しない。 ・商店街のための市役所ではなく、行政としての機能を優先し安全なところにあるべき。それより、市民の生活の再建が重要であり、市役所は最後でいい。 ・放射性セシウムの基準値を超えたシイタケほだ木の集積される場所が小黒山地区との情報であるが事実か否か。 ・ほだ木の仮置き場として、矢作川の上流でもあり安全なのかも含め環境への配慮など心配である。 ・ほだ木の処分対策については、個人の了解で済む問題ではなく、地域への説明なども必要ではないか。 ・ほだ場の除染については個人での除染は無理であり、行政としての対応を望む。また、補償するとしているがどのような形での補償となるのか ・地区内にある牧草地の除染対策はどのようになっているのか。 ・市道の整備を継続して要望しているが、いまだに改良されていない。被災地の復興のみならず各地域への配慮が必要である。 ・被災からの教訓としても国道343号の整備が更に必要と考える。笹ノ田トンネル実現に向けた協議や検討などがなされているのか。実現に向けた活動を展開していただきたい。 ・高台の東西を結ぶ道路として、広田半島をつなぐアップルロードの延伸整備はぜひ必要ではないか。 				

<p>所 感</p>	<p>小松 眞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災による福島原発事故の放射能の汚染は、当市管内の除染も終息していない。汚染牧草の処理の情報が竹駒地区でも指摘されたが、二又では椎茸ホダ木の処理の情報が市民から寄せられた。 ・安全性は確保されていたとは言え、議会として知らなかったでは済まされる問題でないように感じる。安全性の確保のため再調査が必用と感じる。 <p>及川修一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災の直接的な影響がない地域という感覚で臨んでしまったが、放射性物質という目に見えない被災に悩む地区の現実を見ることになった。シイタケ生産者が多くいる地区であるが、私はこれまでのシイタケそのもののセシウム含有についての問題意識はあったが、楢木、楢場の問題については意識が薄かったと認識した。 小友浦同様この報告会がきっかけとなって当局が説明会などを積極的に行うなどの対応がみられ、説明責任情報開示の重要性を痛感した。 <p>菅野広紀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総じて各地区に出向く訳なので、地域課題を事前にコミセン側と意見交換しておく等の事前準備が必要ではないかと感じた。地域住民とともにより密接な地域課題解決を進める姿勢が議会には必要とかんじた。 以上のことは、今後の広聴広報充実に向けての議会の最大の課題と感じた。 <p>松田信之</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シイタケのほだ木が特定地域に集積されようとしていることなど、参考となる情報交換の場でもあった。 <p>佐々木一義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射能汚染されたボダ木七万本を仮置き場が、小黑山の私有地に市が所有者をだけの了解で置こうとしている市の考え方がわからないとの印象的な発言がありました。また、販売できない乾燥したシイタケへの東京電力からの補償がされないが、どのようになっているのか問われたが、わからないので答えられませんでした。 また、急傾斜地の除染はどのように進めるのかを考えさせられました。 <p>伊勢純</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の報告会で扱われた復興計画の進捗について、様々な疑問や提言が出された。かさ上げや気仙川の河川改修、JR 大船渡線の復旧を求める声など、議会として一致して取り組む方向性と同じものであり、互いにより深く意見交換をできたものと思う。また、矢作地区の特徴として、農業・林業に取り組む方の割合が高いことがあり、東京電力福島原子力
------------	---

	発電所からの低い線量の放射能により困難が生じている実態については、調査や対策が必要だと感じた。
--	---

陸前高田市議会議長 殿

平成25年2月18日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成25年度議会報告会第1班

班長 小松 眞 ㊟